

守備の基本 きっちり

小学生対象 野球教室

高校生指導の下、一生懸命に守備練習する参加者

光星高、工大一 高生がコーチ

八戸

小学生を対象とした第12回少年野球教室が20日、八戸市から参加した約100人が、コーチ役を勤めた八戸学院光星高、八戸工

戸市の長根球場で行われた。市内から参加した約100人が、コーチ役を勤めた八戸学院光星高、八戸工

大一高の野球部員約70人から守備や打撃の基本を教わりながら、交流を深めた。野球の普及や競技人口拡大を目指す「小中学生のための硬式野球教室」（角金静夫代表）が主催。青森県高野連が共催し、この日、同球場で行われた高校生の試合後に約2時間開催された。教室では、高校生がキャッチボールの相手や打撃投手を務めるなどして熱血指導。終盤には、両校が実際に練習で行っているシートノックを披露し、参加者に手本を示した。参加した福田知未さん（12）市立城下小6年IIは「高校生と楽しく話せた。バットイングをもっと上達させたい」、久保喬護君（12）同IIは、「ボールを捕った後にすぐ右足を出すことの大切さを教わった」と笑顔で話した。（金濱千優希）